



## 2017年1月21日 チーム神於山活動報告

2017.1.23  
シャープ社友会  
チーム神於山 真砂 記

■活動日：2017年1月21日（土） 10:00~15:00

■参加者：チーム神於山 正会員 11名

### ■活動内容

- ・新年第一回の活動日は1月14日（土）の予定でしたが、昨年末に、1月21日（土）に岸和田市が道の駅愛彩ランドをメイン会場にしたイベント「ゆめみヶ丘フェスタ」を開催することが判りましたので、急遽21日に変更し、神於山シャープの森での活動体験会を兼ねて竹林の竹柵の修復に取り組みました。
- ・残念ながら体験会への参加希望者は有りませんでした。作業開始時 原さんから、全エリアを対象に間伐を進めるのは効率が悪いので、竹林内にタケノコ掘りイベント用のエリアを決め、先ずそこから進めてはどうかとの提案があり、作業道から上の皆伐エリアの竹柵沿いに作ることにし、活動を開始しました。
- ・11名のパワーは絶大で、竹柵の補修と、イベント用と決めたエリア内に積み上げてあった 以前伐採した枯れ竹の運び出しをほぼ終わることができました。  
参加頂いた11名のメンバーの皆さん、お疲れ様でした。
- ・次回（28日（土））は、イベント用のエリアにイノシシが入らないように、竹林内に柵を巡らします。別途ご案内しますので、奮ってご参加ください。

■作業風景1 竹柵は、生きた竹を柱に、それを挟む様に竹を横に2本 上下に渡し、払った枝を差し込んで完成。



時には押しながら、時には生きた竹2本を使って、竹を横に2本 上下に渡して番線で留めます。



出来上がった竹の柵。あと一息。

- ・写真は有りませんが、作業は横に渡す竹を切り出し、枝を払うことから始めました。
- ・今回は、昨年末に除伐して遊歩道脇に積んでおいた竹も利用しました。
- ・間伐した竹の枝は、そのままにしておくと枯れた後、針のように固く尖り、大変危険ですから竹を伐った時に払いますが、そのままにしておくとゴミの山になります。
- ・この方法は、間伐した竹や、払った竹の枝の処理方法として良い方法です。
- ・神於山保全クラブさんは、払った枝だけではなく竹そのものや、縦に2つに割ったものを差し込んで、イノシシ避けの頑丈な竹塀作っています。



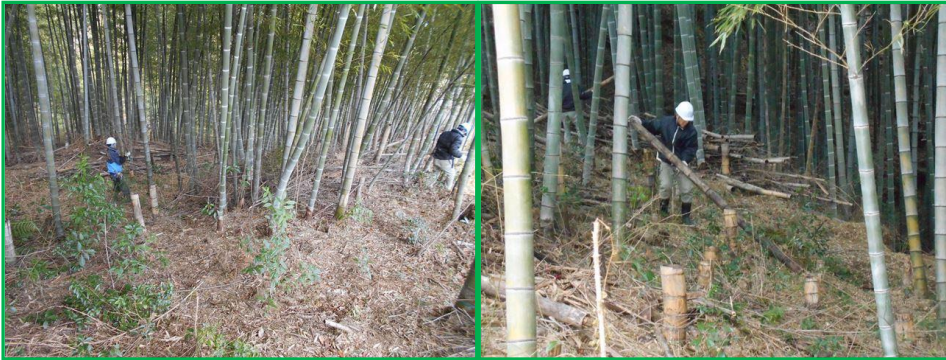
最後の作業は、払った竹の枝を柵に差し込むこと。どんどん刺します。





## ■作業風景2

イベントエリア予定地からの以前伐採した枯れ竹の運び出し。



- 間伐した竹は、本来伐った時に竹林外に搬出すべきですが、便宜的に竹林内に積み重ねていました。
- ほとんど枯れていて軽いですが、水分を含んでいると結構重く、また腐っていると崩れやすいので、運び出すのは大変です。
- 取り組んで頂いた香遠さん、原さん、小林さん、お疲れ様でした。

## ■完成した竹柵

写真は、上左から下右へ、遊歩道を下りながら撮影しました。左側が竹林です。



- 竹林は、シャープの森側から麓に伸びる斜面に在り、遊歩道はそれに沿って造られています。
- 左の写真の矢印の場所から下に広がる竹林内にタケノコ掘りイベント用のエリアを設ける考えです。28日にはここから竹林の中にイノシシ避けの柵を巡らす予定です。



## ■活動いただいたメンバーの皆さん。

お疲れ様でした。



昼食後の一枚。記念樹ゾーンの藪椿の前で。



午後、完成した竹柵の前で一枚。

- 記念樹ゾーンの藪椿前で写真を撮った際、生物多様性年（2010年）に植えた合歓木に白いキノコのようなものが生え、枯れ始めているのが気になりました。
- 幹に横にひび割れも出ていますからダメかもしれませんが、対応策はないかきしわだ自然資料館に問い合わせてみます。

以上